

また、支線路線は、交通空白地域の縮減や運行の効率化を図るため、本年10月をめどに次の2路線のルートを見直します。
 教育センター線は、国道4号を通るルートが石鳥谷線と重複していることから、交通空白地域の縮減のため、宮野目中学校付近や花巻北高校を經由するようルートを変更します。
 天下田団地線は、利用が少ない花巻駅前から賢治詩碑前間のルート廃止。花巻駅から県立中部病院間のルート新たに設

交通空白地域が広がっている湯口、湯本、矢沢、宮野目の一部地区で、本年10月から予約乗合交通を導入する予定です。
 また、現在、予約乗合交通が導入されている石鳥谷、東和、

③予約乗合交通の導入 地域拡大と見直し検討

中心市街地のにぎわいと回遊性や利便性向上のため、本年10月をめどに市街地循環バス(ふくろう号、星めぐり号)の運行ルートを拡大します。
 松園地区では花巻東高校前を經由、花北地区では愛宕公園前を經由、花南地区では緑ヶ丘バス停留所を經由するなど、3カ所でルートの拡大を行います。
 これに伴い、バス停留所の新設・見直しを行うほか、待合環境の整備を検討します。

●市内の予約乗合交通のイメージ図



大迫地域において、運行形態の見直しを検討します。市としては、地域住民が希望する週3日の運行を5日へ拡大することを検討していますが、一方で、交通事業者は運転手不足などの実情により、週5日へ拡大するのは、フリー運行から定時運行への見直しを希望していることから、引き続き協議を進

め、持続可能な運行方法を検討します。
 検討を踏まえた具体的な見直しは、令和7年度に行う予定です。
 ※詳しくは決まり次第、広報はなまきや市ホームページなどでお知らせします

●花巻市公共交通マップをご利用ください

市内の路線バス、鉄道、タクシー、予約乗合交通などの公共交通の情報が1枚になったパンフレットを発行しています。折り畳み式で、携帯にも便利です。
 ※新館都市政策課、各総合支所建設係、花巻駅・新花巻駅の観光案内所などに配架しています



☞バス、予約乗合交通を次のページで詳しく紹介します

【重点事業】

①バス路線の再編

市内の拠点間や周辺自治体を結ぶ幹線路線の維持を図るとともに、花巻温泉郷をはじめとした観光地への移動手段を確保するため、主要観光路線を維持します。

いわて花巻空港は花巻市の玄関口の一つですが、いわて花巻空港と花巻駅間を結ぶ路線がないことを受け、現行の大迫花巻線を、令和7年度からいわて花巻空港を經由するルートに変更

②市街地循環バスのルートの拡大

定めます。
 これに伴い、大迫花巻線にて運行している花巻駅と県立中部病院間のルートは廃止します。

特集 みんなで守ろう 私たちの公共交通



花巻市地域公共交通計画を策定しました

市では、持続可能な公共交通サービスの提供が確保されることを目指して、花巻市地域公共交通計画を策定しました。

●公共交通を取り巻く状況

市内の公共交通は、いわて花巻空港、東北新幹線、JR在来線、バス路線、タクシーに加え、市街地循環バスや予約乗合交通と、多様な形態で形成され、広域移動および地域内移動を担っています。

公共交通を取り巻く状況は厳しく、新型コロナウイルス感染症の影響による更なる需要の減少、燃料費の高騰などによる交通事業者の経営悪化、慢性的な運転士不足などにより、減便や路線廃止といった公共交通の縮小が現実になってきています。

●計画で定めていること

本計画では、市民生活に必要な移動手段の確保について、目指すべき公共交通の方向性や計画の目標を定めています。計画期間は、令和6～10年度の5年間で



●花巻市地域公共交通計画の概要

【基本理念】

みんなで守り支える 誰もが移動しやすい公共交通の実現

実現に向けた4つの基本目標

①市民の移動機会を支える公共交通の維持

- 鉄道の維持、バス幹線路線・支線路線の維持
- 市街地循環バスの利便性の向上

②交通空白地域における移動手段の確保

- 予約乗合交通の導入地域の拡大
- 予約乗合交通導入済み地域の運行形態見直し

③誰もが利用できる公共交通環境の創出

- 市外来訪者が利用しやすい移動手段の提供
- 福祉と一体となった移動手段の確保
- 待合環境の整備・改善

④市民とともに守り支える公共交通の実現

- 公共交通の利用促進
- 地域が主体となった移動手段確保への支援
- 地域公共交通の持続可能な運営